

# 中小企業景況調査報告書

( 第 109回 )

平成20年 1 ~ 3 月期 実 績

平成20年 4 ~ 6 月期 見通し

平成20年 4 月

北海道商工会議所連合会

# 目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

# ・ 調 査 要 領

## 1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成20年3月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成20年1～3月期実績及び平成20年4～6月期の見通し

## 2. 調 査 対 象

### (1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

### (2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

## 3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

## 4. 業種別・規模別回答状況（社数）

### (1) 中小企業景況調査

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	40	52	49	68	54	263
中 規 模	19	13	24	20	26	102
合 計	59	65	73	88	80	365
構成比(%)	16.2	17.8	20.0	24.1	21.9	100.0

### (2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 18社、建設業 17社、卸売業 6社、  
小売業 15社、サービス業 25社、合計 81社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

# 概況

- 全業種において、業況は厳しさを増す -

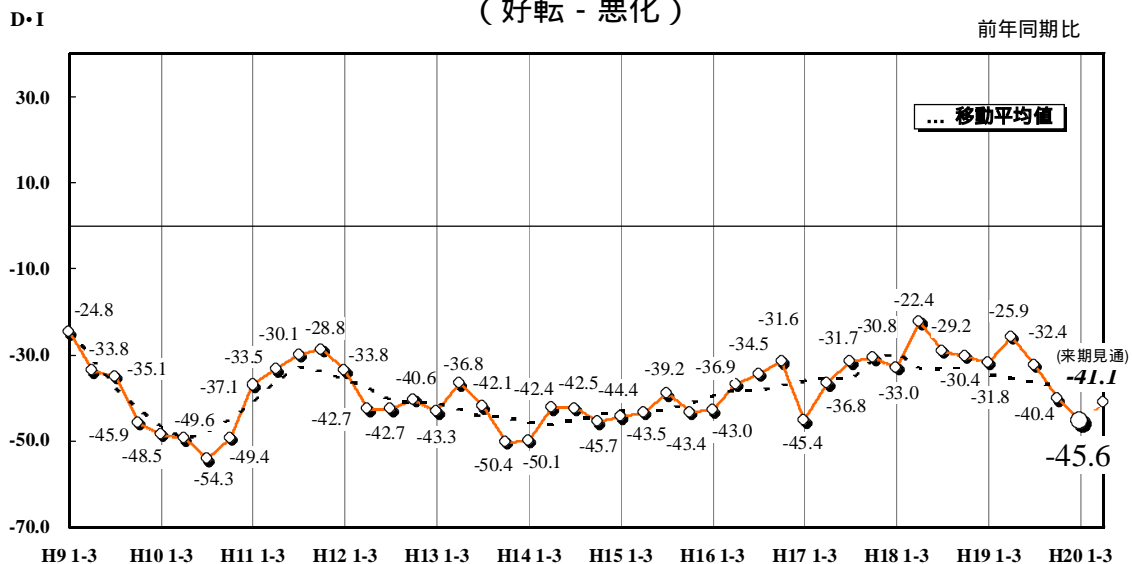
## 今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（1月～3月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成19年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 44.9、前年同期比（平成19年1月～3月期の水準と比較した今期の業況）では 45.6と、いずれも業況は悪化しているとの見方が強い。

前回の調査（平成19年10月～12月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 28.0 今回 44.9と大幅にマイナス幅が拡大しており、また、前年同期比でも前回 40.8 今回 45.6と4.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、前年同期比で製造 37.3、建設 47.7、卸売 45.9、小売 46.5、サービス 50.6と、特に卸売業(前回 28.6)、小売業(前回 37.0)でのマイナス幅の拡大が顕著である。

業況推移（全業種平均D・I）  
（好転 - 悪化）



業況を札幌市と札幌以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 43.1（前回調査 32.2）、札幌以外の地域 47.2（前回調査 48.7）となっており、札幌市でのマイナス幅の拡大が顕著となっている。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成19年4月～6月期の水準と比較した来期の見通し）では41.1と、今期の水準（45.6）より4.5ポイント改善する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」が高いウエイトを占めている他、製造業では「原材料価格の上昇」（41.9%）、建設業では「民間需要の停滞」（25.8%）及び「官公需要の停滞」（22.6%）、卸売業では「仕入単価の上昇」（19.4%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（22.6%）、サービス業では「材料等仕入価格の上昇」（13.7%）及び「利用者ニーズの変化への対応」（13.7%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で10.6%と、前回調査時（11.6%）より1.0%低下、依然、慎重な動きが続いている。

## 産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 37.3（来期見通し 35.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成19年10月～12月期）時点からの推移では、前回 35.4 今回 37.3と1.6ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、原油価格高騰の影響から依然「燃料・原材料・資材などのコスト上昇」「消費の低迷」など採算・業況悪化を訴える声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・個人消費の伸び悩みから売上高は減少し利益も薄い。また原油価格の高騰から、燃料・穀物関係を含む原材料費や包装資材が値上がりし、資金繰りは厳しい。（食料品製造業）
- ・住宅新規着工の減少等から、売上額は減少している。また同業他社の倒産により信用不安が発生し萎縮している。（プラスチック製造業）
- ・来期は依然原材料の高騰が続く見通しであり、また少ロット短納期での生産体制が求められるため、さらなるコストの上昇が懸念される。（印刷業）
- ・燃料・原材料の高騰による製造コストや流通コストの上昇が続いており、商品価格への転嫁が課題となっている。（紙・パルプ製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 47.7（来期見通し 40.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成19年10月～12月期）時点からの推移

では、前回 43.5 今回 47.7と4.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「受注量の減少」「公共工事の減少」による売上の低下・競争の激化、原油高騰の影響から採算が悪化したとの声が出ています。

〔主なコメント〕

- ・公共事業、民間事業が共に減少し、また原油高による材料の仕入単価の上昇もあり、非常に厳しい状況である。(建設業)
- ・公共工事の減少により競争が激化し、技術力や営業力のある企業との格差が拡大している。また建築基準法改正の影響がまだ尾を引いている。(建設業)
- ・民間需要の減少、受注単価の低下、材料価格の高騰により厳しい状況となっている。また、建築基準法改正による着工遅れの影響を受けている。(建設業)
- ・受注量の減少と競合により利益が悪化し、人間的にも過剰感が出て来た。(建設業)
- ・公共事業の大幅な減少により競争が激しく、また資材などの値上がりにより収益が悪化している。(建設業)

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 45.9(来期見通 44.5)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成19年10月～12月期)時点からの推移では、前回 28.6 今回 45.9と17.3ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「原材料・燃料の高騰」「仕入単価の上昇」により採算が悪化したとの声が出ています。

〔主なコメント〕

- ・原材料の高騰により、仕入れ単価も軒並み上昇する予定。価格の引き上げ交渉も難しく、他社との競争も激化してくる物と思われる。(建築材料卸)
- ・需要低迷の中、石油関連製品の高騰に加え、食品原材料・鉄鋼製品の値上げを控え、販売条件などの対応に追われている。(各種商品卸)
- ・商品価格の高騰や燃料の高騰により収益が圧迫されている。(卸売業)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 46.5(来期見通 35.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成19年10月～12月期)時点からの推移では、前回 37.0 今回 46.5と9.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出、中心市街地の衰退の影響、「個人消費の低迷」などによる売上の減少、原油価格高騰の影響によるコストの上昇などを訴える声が出ています。

〔主なコメント〕

- ・原油高騰をきっかけとした諸物価の上昇により、消費者の購買意欲が低下している。(小売店)
- ・1月に入り寒さが本格化したため衣料品の売れ行きが増加した。郊外大型店は昨年並みの売上で善戦しているが、地元商店街は引続き厳しい状況が続いている。(小売店)
- ・消費が伸び悩んでおり、大型量販店の進出による影響が大きくなってきている。(小売店)
- ・新入学、転勤等の時期で、販促活動に期待しているが、大幅な伸びは見られない。(商店街)

## 【サービス業】 [ 業況D・I値 (前年同期比) 50.6 (来期見通 49.9) ]

業況D・I値 (前年同期比) の前回の調査 (平成19年10月～12月期) 時点からの推移では、前回 57.8 今回 50.6と7.2ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは「利用客の減少」に加え「燃料の高騰」や「仕入価格の上昇」による採算の悪化を訴える声が大宗を占めている。

〔主なコメント〕

- ・一般宿泊客数や修学旅行客数の減少により売上が低下した。(ホテル)
- ・原油高の影響を受け、家庭における生活費の増加から、受注が減少している。またハンガーなどのプラスチック製品の値上がりによりコストが増加している。(クリーニング)
- ・仕入れ単価等諸経費が日増しに高騰しており、経営環境は益々厳しくなっている。(自動車整備)
- ・原材料の価格上昇により、販売価格の見直しが迫られている。(レストラン)
- ・海運、陸運の燃油高騰によるコスト吸収力が限界にきているが、価格転嫁ができない。(運輸)

## 道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

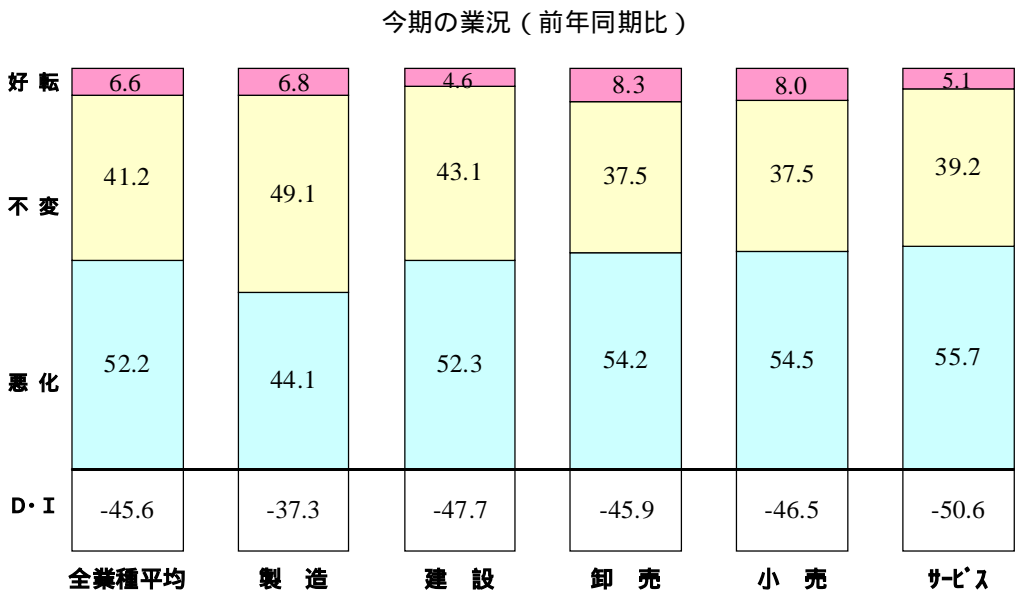
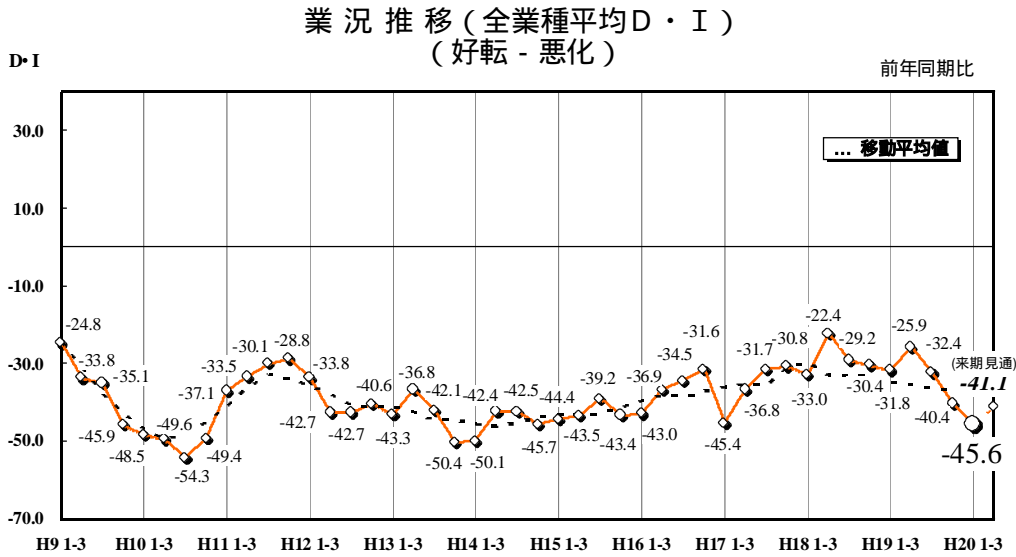
道内各商工会議所の相談窓口 (中小企業相談所) からみた状況については、「建設業では、公共事業の減少や建築基準法改正による着工の遅れ等から、関連する多くの小規模企業に仕事が回っていない」「原油高騰の影響が加わり、苦況に陥る企業が今後更に増えるものと見られる」「景気はどの産業においても良くなく、また回復する要因も見あたらない」「小規模企業の廃業が目立っている」など厳しい声が出ています。

金融斡旋状況では、小規模事業者向けの経営改善資金 (マル経資金) 及び道の制度資金について、地域によりばらつきが見られるが、一部の中小企業者において、春先の活動期を迎え、融資の相談は増えてきている。

# 1. 今期の業況

## (1) 今期の業況

【前年同期比】（平成19年1～3月期の水準と比較した今期の業況）

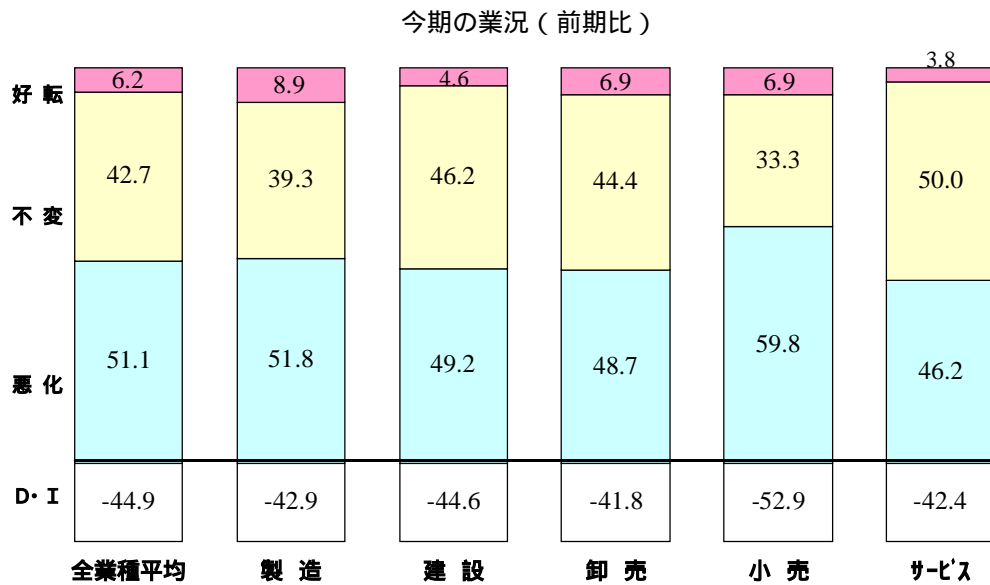


全業種平均でD・I値 **45.6**〔前回調査時（平成19年10～12月期 **40.4**）より5.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 35.4 37.3〕、建設〔前回 43.5 47.7〕  
卸売〔前回 28.6 45.9〕、小売〔前回 37.0 46.5〕  
サービス〔前回 57.8 50.6〕



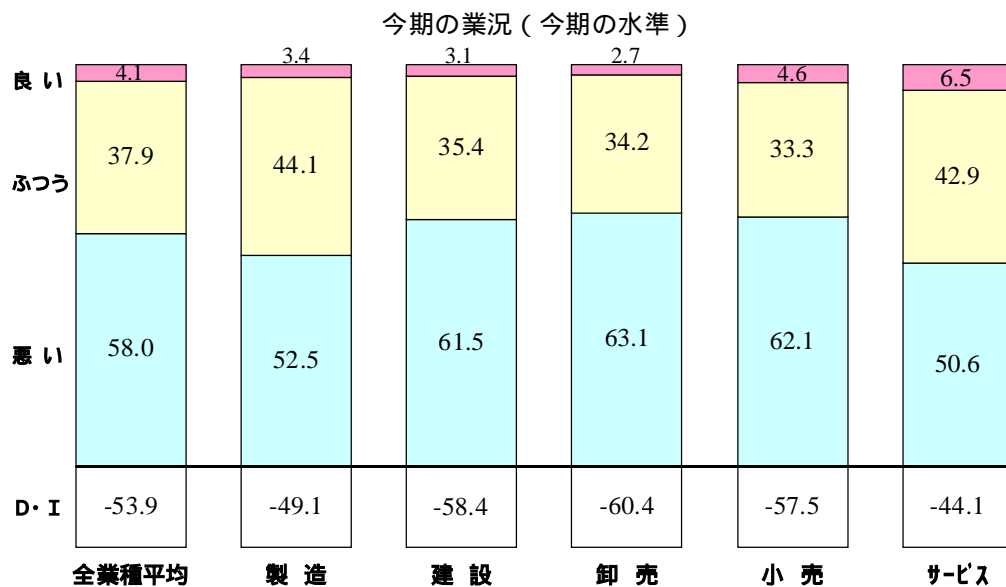
【前期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 44.9〔前回調査時（平成19年10～12月期 28.0）より16.9ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 14.1 42.9〕、建設〔前回 34.8 44.6〕  
卸売〔前回 23.7 41.8〕、小売〔前回 24.2 52.9〕  
サービス〔前回 43.0 42.4〕

【今期の水準】

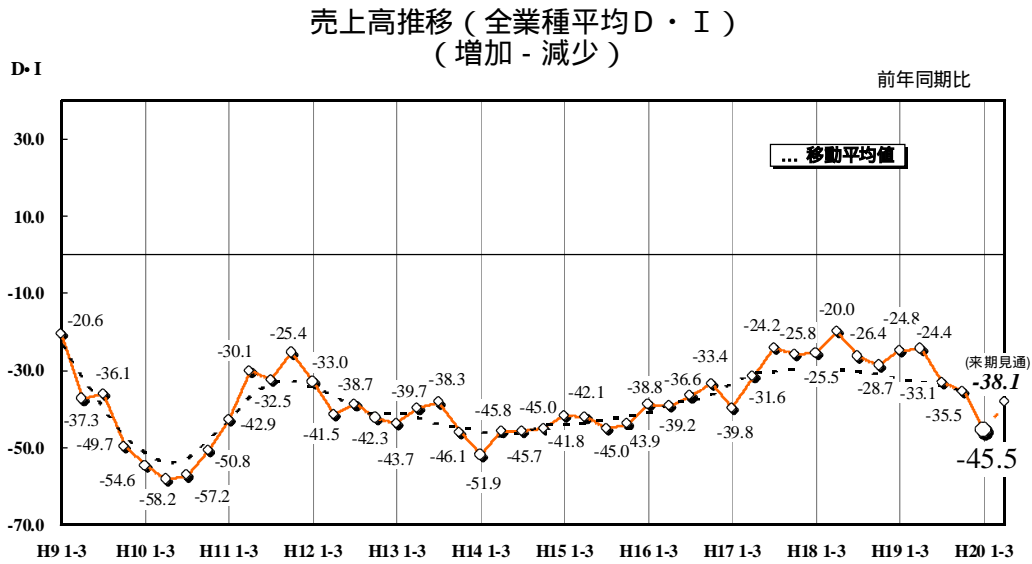


全業種平均でD・I値 53.9〔前回調査時（平成19年10～12月期 44.8）より9.1ポイントマイナス幅が拡大〕。

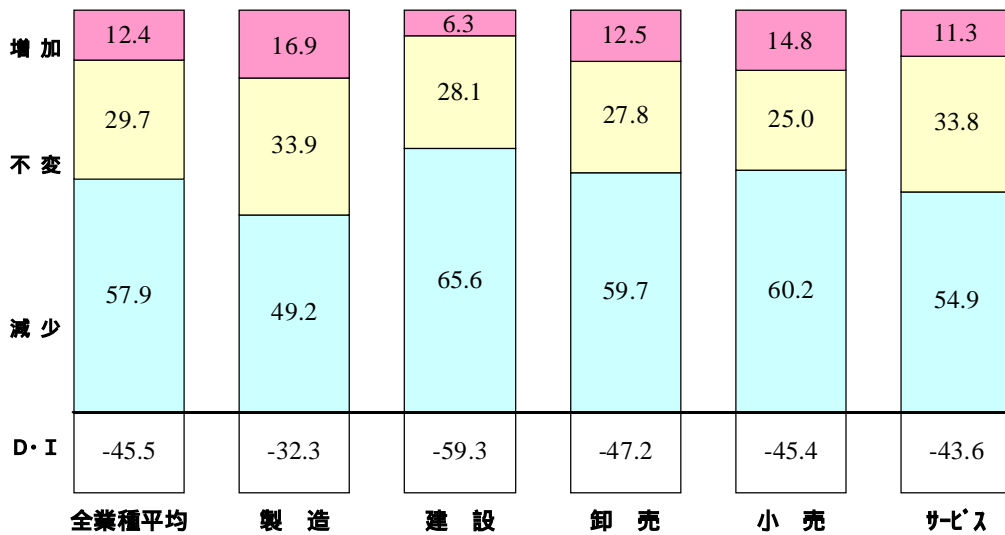
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 32.3 49.1〕、建設〔前回 46.5 58.4〕  
卸売〔前回 42.8 60.4〕、小売〔前回 50.0 57.5〕  
サービス〔前回 52.7 44.1〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成19年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）



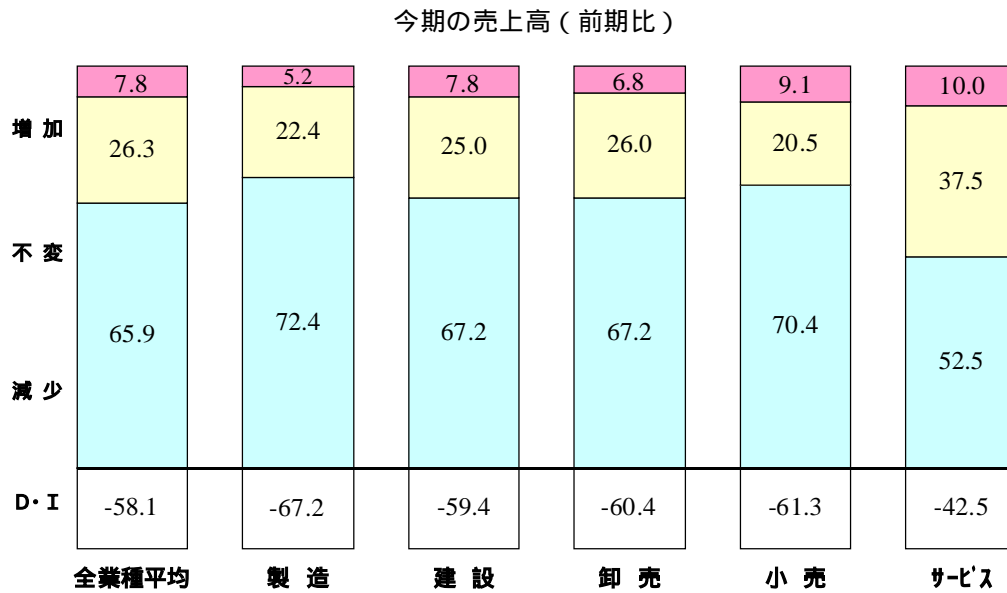
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 45.5〔前回調査時（平成19年10～12月期 35.5）より10.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 26.2 32.3〕、建設〔前回 50.7 59.3〕  
卸売〔前回 36.3 47.2〕、小売〔前回 27.6 45.4〕  
サービス〔前回 36.8 43.6〕

【前期比】（平成19年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）

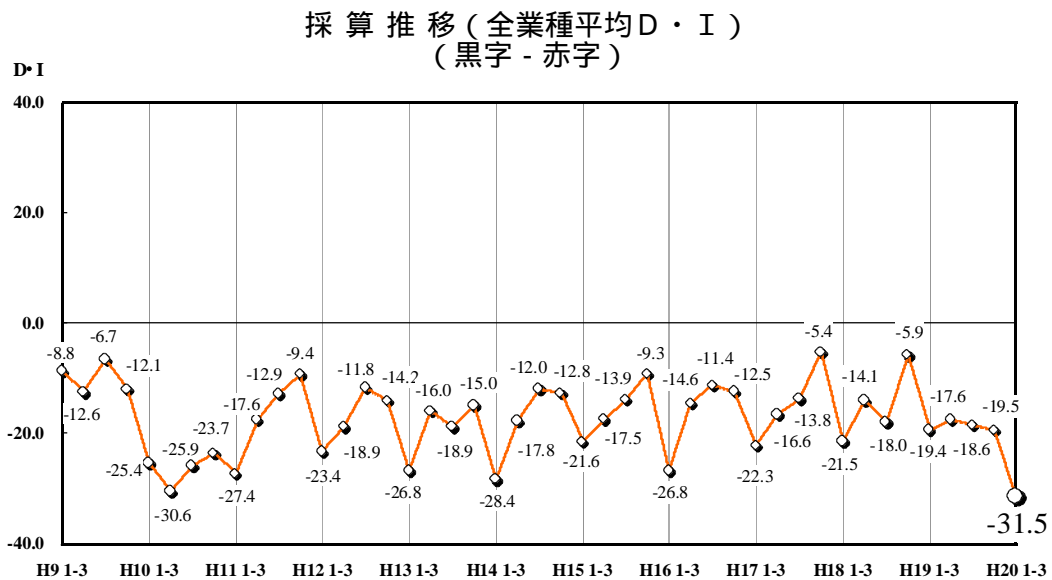


全業種平均でD・I値 58.1〔前回調査時（平成19年10～12月期 16.8）より41.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

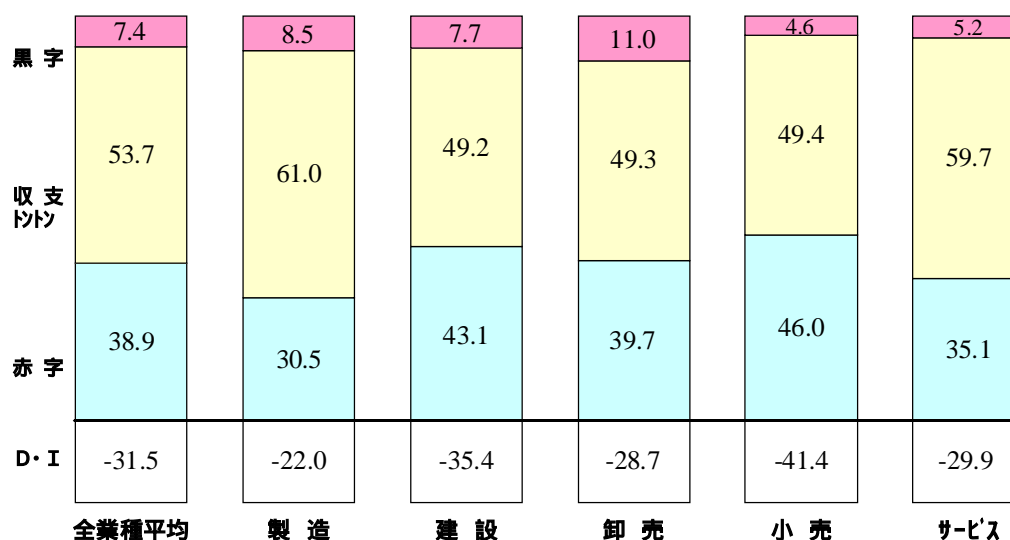
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 4.6 67.2〕、建設〔前回 30.3 59.4〕  
 卸売〔前回 5.1 60.4〕、小売〔前回 18.1 61.3〕  
 サービス〔前回 25.6 42.5〕

（3）今期の採算（経常利益）

【今期の水準】



今期の採算（今期の水準）

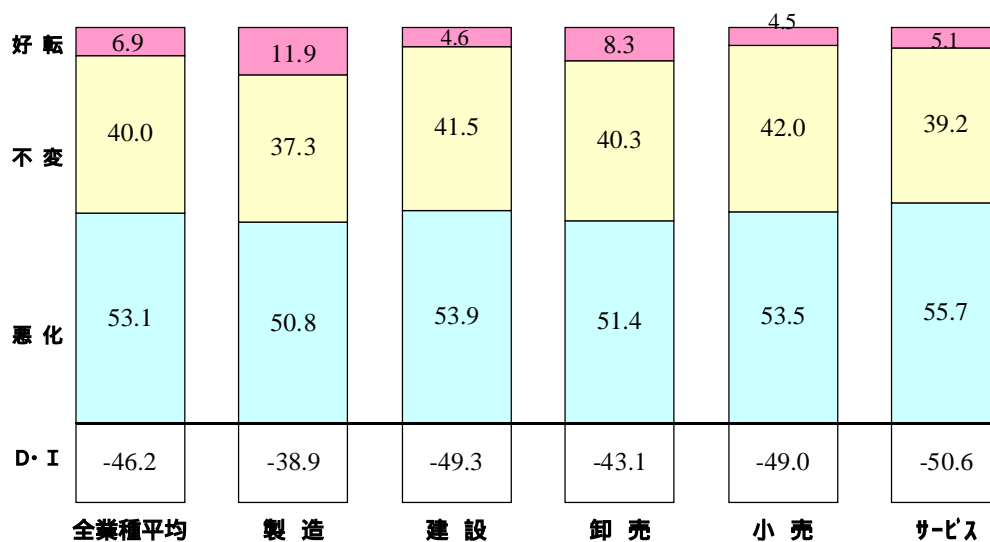


全業種平均でD・I値 31.5〔前回調査時（平成19年10～12月期 19.5）より12.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 13.8 22.0〕、建設〔前回 21.7 35.4〕  
卸売〔前回 9.1 28.7〕、小売〔前回 21.3 41.4〕  
サービス〔前回 31.6 29.9〕

【前年同期比】（平成19年1～3月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

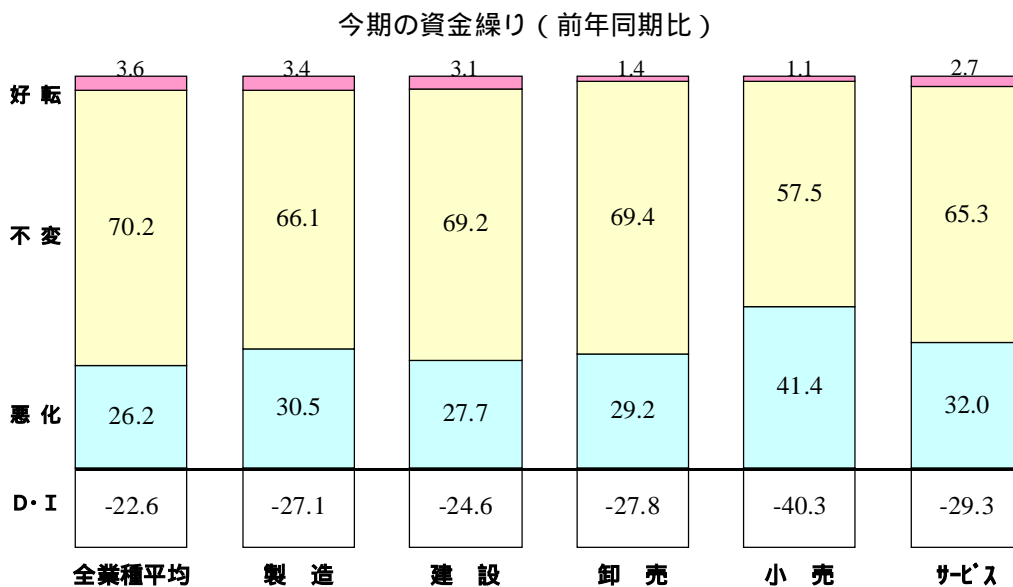
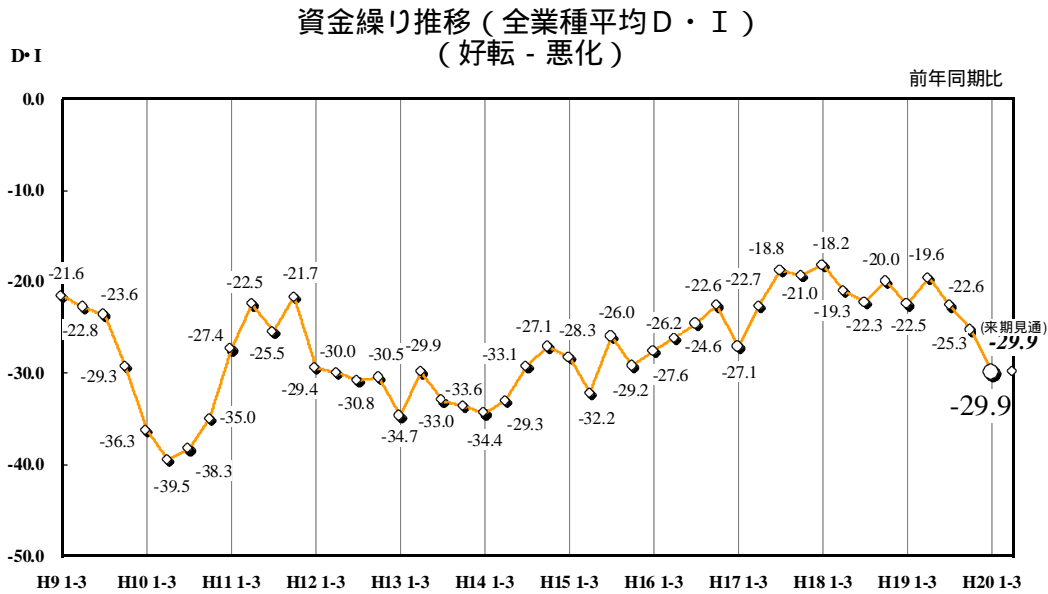


全業種平均でD・I値 46.2〔前回調査時（平成19年10～12月期 43.0）より3.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 44.5 38.9〕、建設〔前回 47.9 49.3〕  
卸売〔前回 36.4 43.1〕、小売〔前回 38.3 49.0〕  
サービス〔前回 47.5 50.6〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成19年1～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



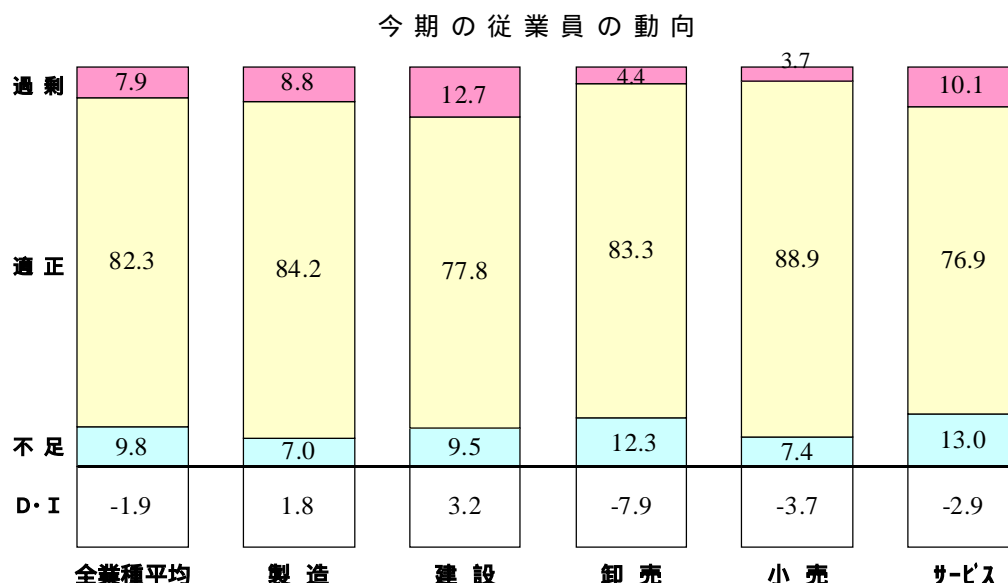
全業種平均でD・I値 29.9〔前回調査時（平成19年10～12月期 25.3）より4.6ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 33.8 27.1〕、建設〔前回 25.0 24.6〕  
卸売〔前回 18.5 27.8〕、小売〔前回 28.2 40.3〕  
サービス〔前回 21.3 29.3〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「原材料価格の上昇」	(41.9%) [前回 32.9%]
	「需要の停滞」	(30.9%) [前回 32.9%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(9.1%) [前回 15.5%]
建設業	「民間需要の停滞」	(25.8%) [前回 18.8%]
	「官公需要の停滞」	(22.6%) [前回 20.2%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(21.0%) [前回 23.3%]
卸売業	「需要の停滞」	(47.6%) [前回 48.4%]
	「仕入単価の上昇」	(19.4%) [前回 12.5%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(9.0%) [前回 12.5%]
小売業	「需要の停滞」	(26.2%) [前回 18.1%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(22.6%) [前回 19.2%]
	「仕入単価の上昇」	(10.7%) [前回 12.4%]
サービス業	「需要の停滞」	(28.8%) [前回 31.2%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(13.7%) [前回 9.0%]
	「材料等仕入価格の上昇」	(13.7%) [前回 14.9%]

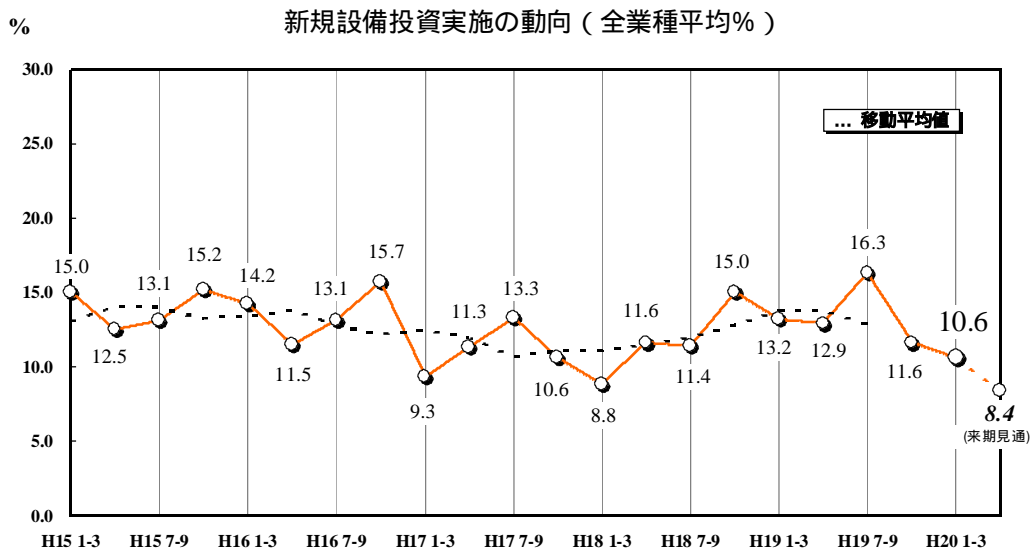
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 1.9〔前回調査時(平成19年10~12月期 3.2)〕と「不足」に傾斜しているが、「適正」(82.3%)とする企業が大勢を占めている。

- [業種別D・I値] 製造〔前回 7.8 1.8〕(適正84.2%)  
 建設〔前回 7.4 3.2〕(適正77.8%)  
 卸売〔前回 1.4 7.9〕(適正83.3%)  
 小売〔前回 9.4 3.7〕(適正88.9%)  
 サービス〔前回 5.9 2.9〕(適正76.9%)

## (7) 今期の新規設備投資



### 今期の新規設備投資の動向

（単位％）

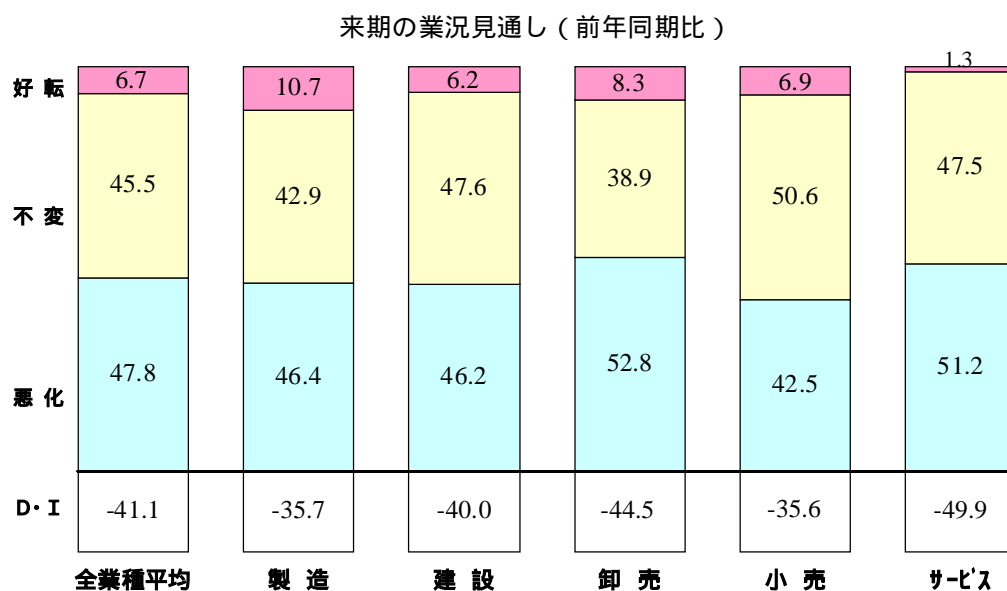
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	22.4	7.7	8.2	4.6	10.1	10.6
土地	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	4.0
工場建物、建物、店舗	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	4.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	61.5	0.0	0.0	0.0	50.0	22.3
車両運搬具	7.7	20.0	33.3	75.0	50.0	37.2
倉庫・駐車場等の付帯施設	7.7	20.0	16.7	0.0	12.5	11.4
O A 機器	30.8	20.0	66.7	50.0	12.5	36.0
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.7	20.0	0.0	0.0	0.0	5.5
実施していない	77.6	92.3	91.8	95.4	89.9	89.4

新たに設備投資を実施した企業は平均で10.6%〔前回調査時（平成19年10～12月期11.6%）より1.0%減少〕、業種別では製造〔前回13.8% 22.4%〕、建設〔前回10.3% 7.7%〕、卸売〔前回9.0% 8.2%〕、小売〔前回7.4% 4.6%〕、サービス〔前回17.7% 10.1%〕と、建設、卸売、小売、サービスで前回調査時の水準を下回った。

## 2. 来期の見通し

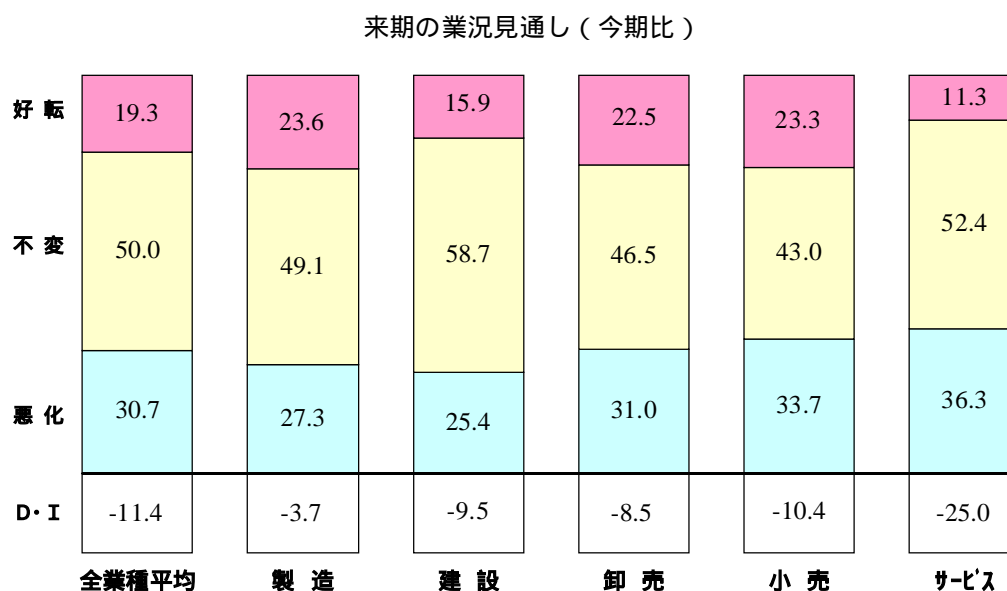
### (1) 来期の業況

【前年同期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 41.1〔今期の業況（前年同期比 45.6）より4.5ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

【今期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）

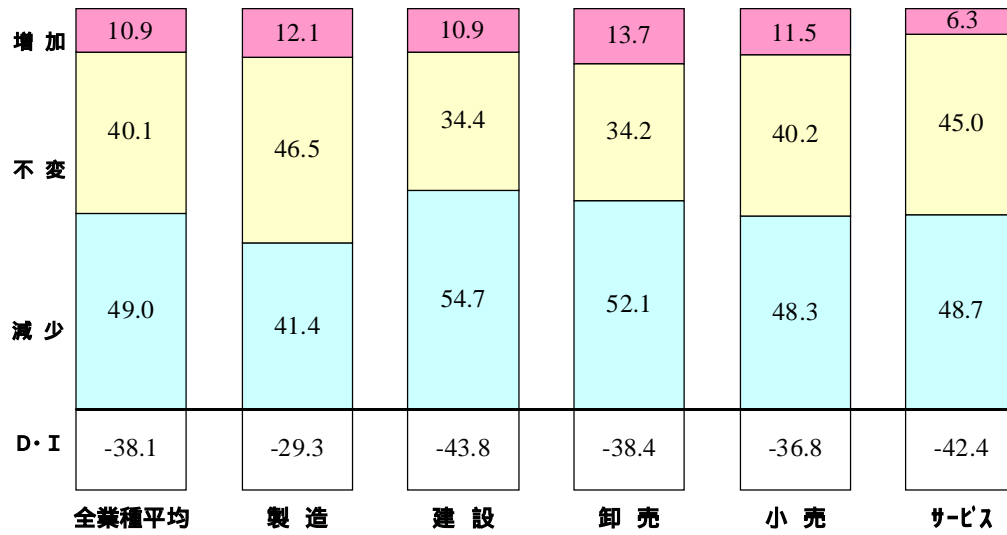




(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

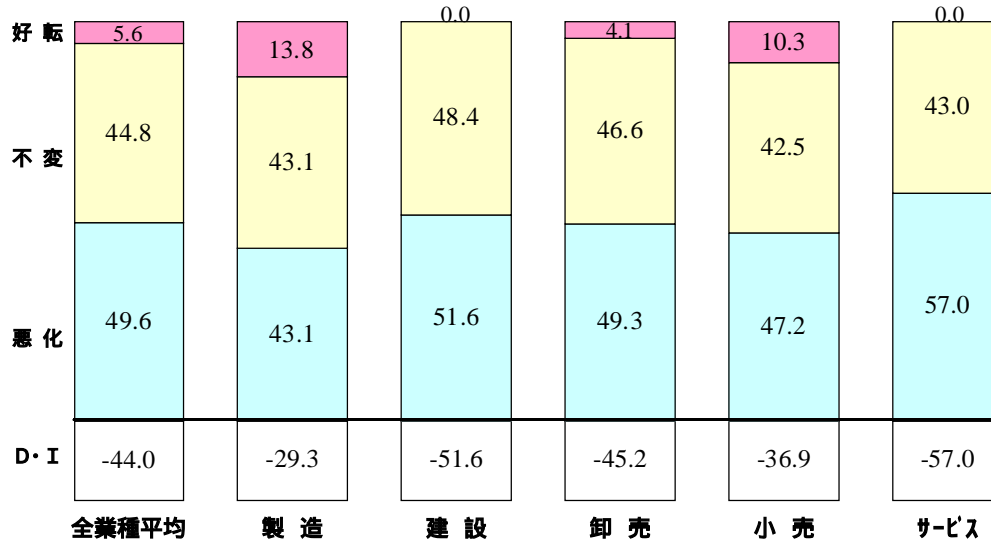


全業種平均でD・I値 38.1〔今期の売上高（前年同期比 45.5）より7.4ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成19年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 44.0〔今期の採算（前年同期比 46.2）より2.2ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

## (4) 来期の新規設備投資

### 来期の新規設備投資の動向

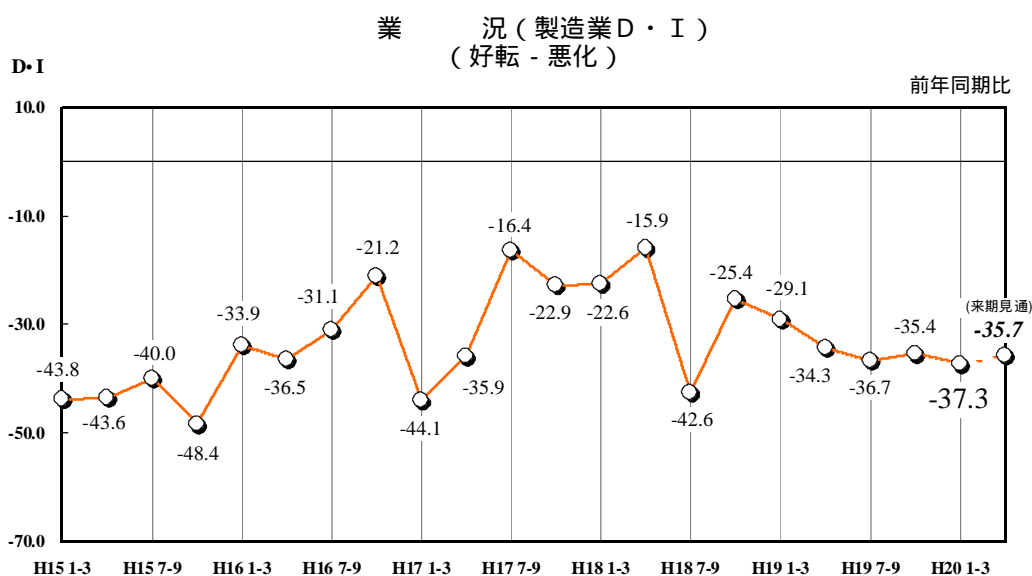
	(単位%)					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	14.0	9.2	4.2	7.0	7.6	8.4
土地	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	3.3
工場建物、建物、店舗	12.5	0.0	0.0	33.3	16.7	12.5
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	0.0	33.3	16.7	50.0	30.0
車両運搬具	12.5	33.3	33.3	50.0	33.3	32.5
倉庫・駐車場等の付帯施設	37.5	16.7	0.0	33.3	50.0	27.5
O A 機器	37.5	50.0	33.3	66.7	66.7	50.8
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.5	16.7	0.0	0.0	16.7	9.2
	86.0	90.8	95.8	93.0	92.4	91.6

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で8.4%となっており、今期(10.6%)を下回る見通し。

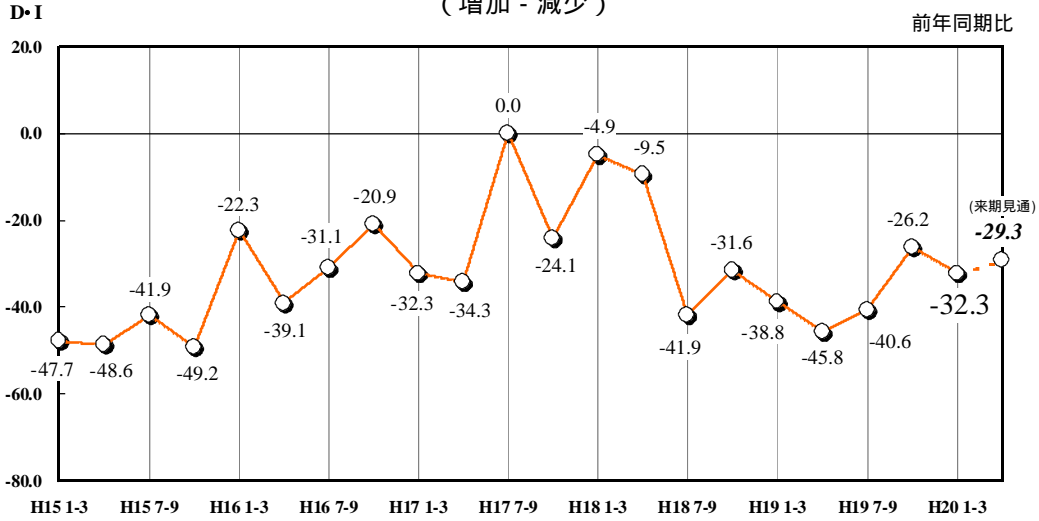
業種別では、製造〔今期22.4% 14.0%〕、建設〔今期7.7% 9.2%〕、卸売〔今期8.2% 4.2%〕、小売〔今期4.6% 7.0%〕、サービス〔今期10.1% 7.6%〕となっている。

## 業種別の動向

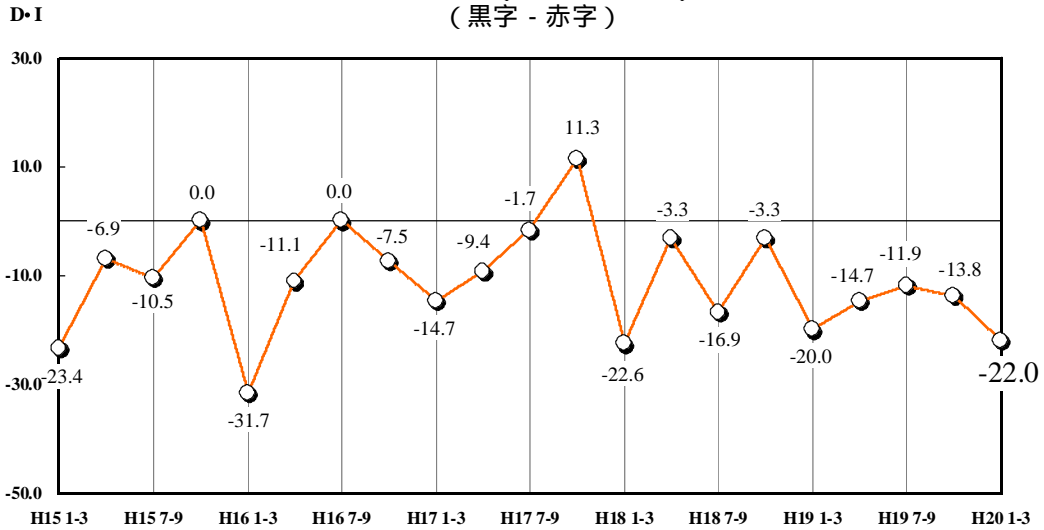
### (1) 製造業



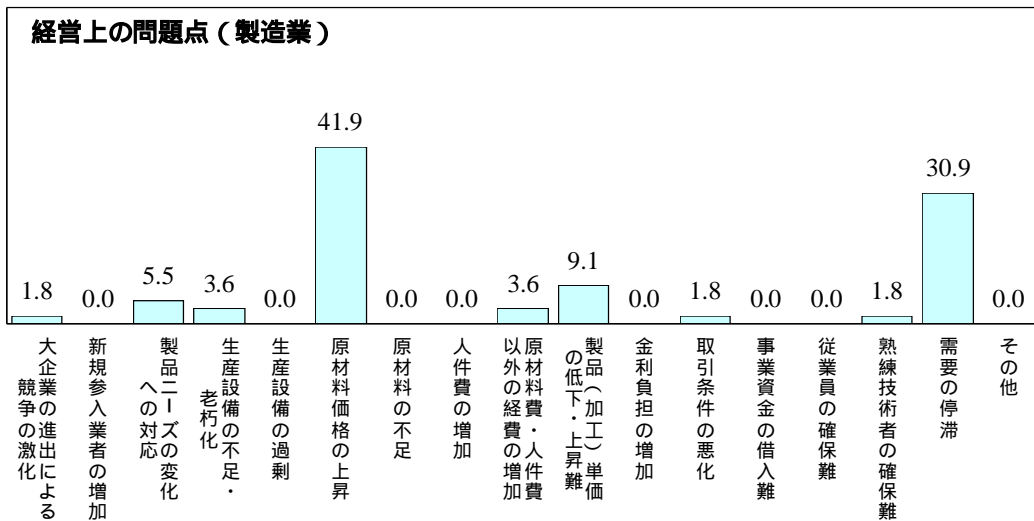
売上高（製造業D・I）  
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）  
（黒字 - 赤字）



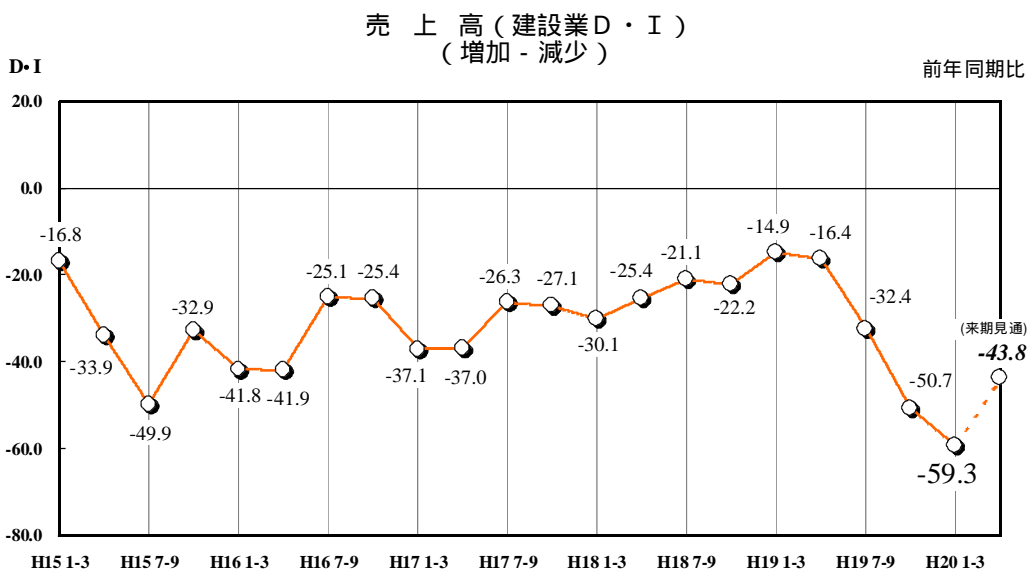
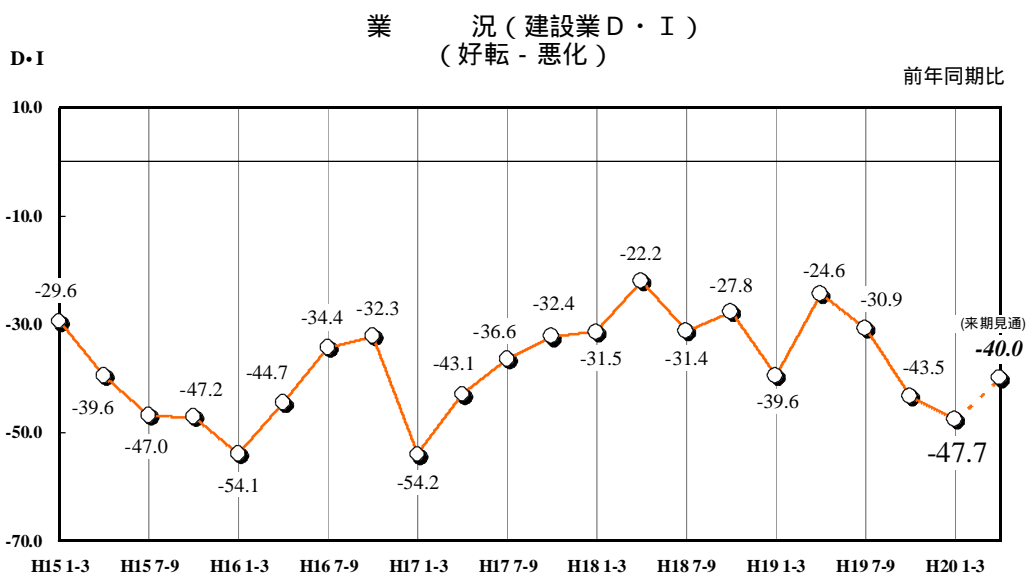
経営上の問題点



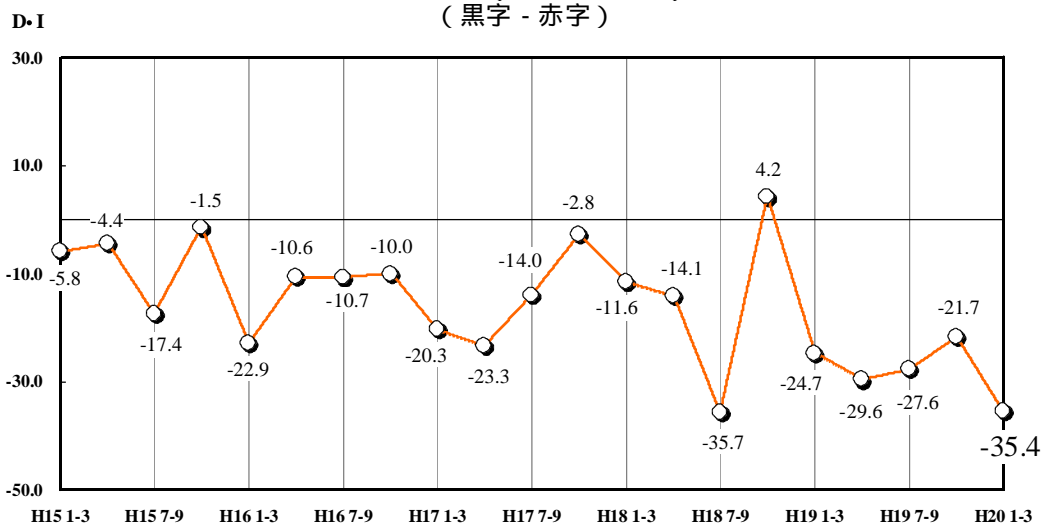
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	27.1	39.7	24.1 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	11.8	9.8 (今期比)
短期 "	-----	9.7	9.6 (今期比)
設 備 操 業 率	30.9	-----	27.7 (前年同期比)

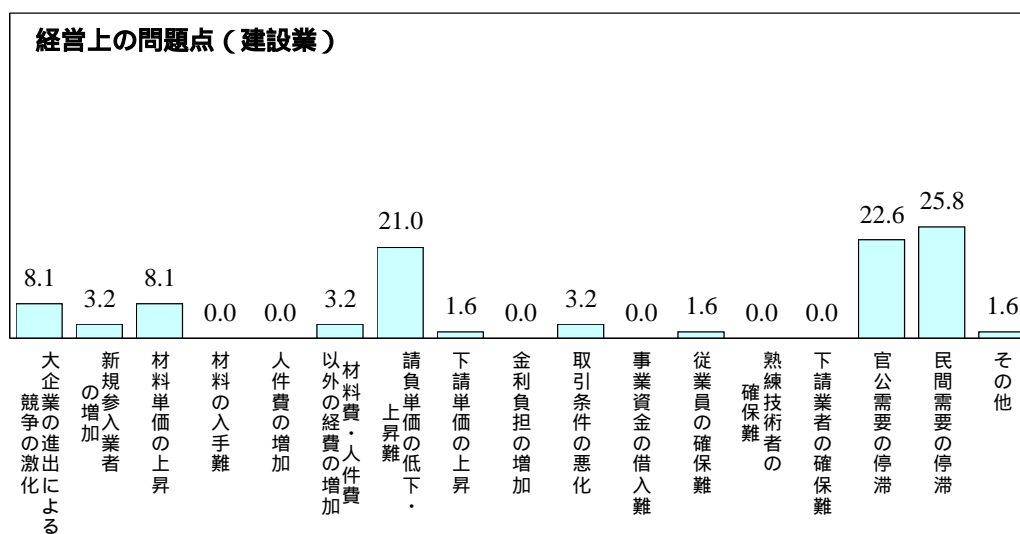
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)  
(黒字 - 赤字)



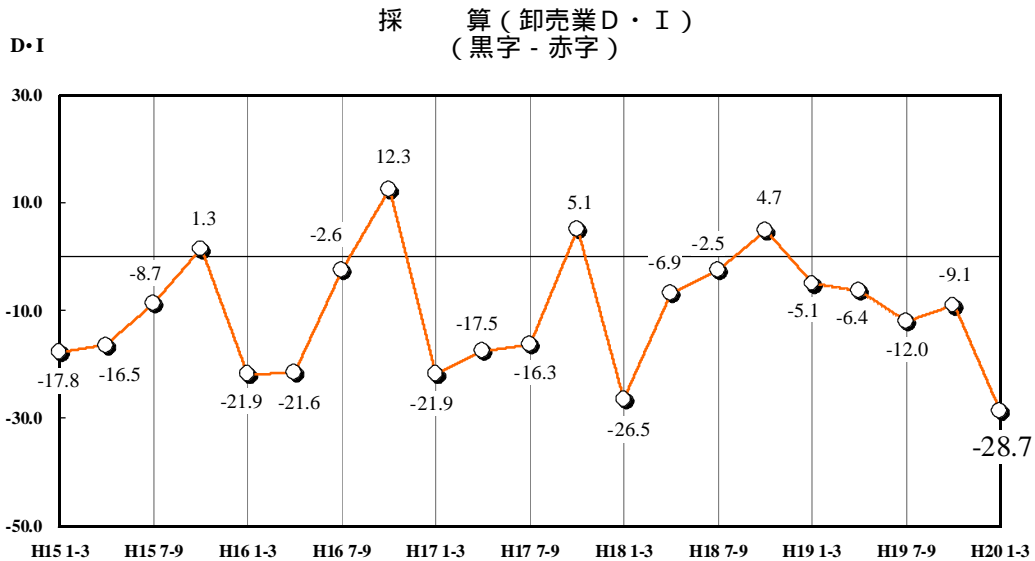
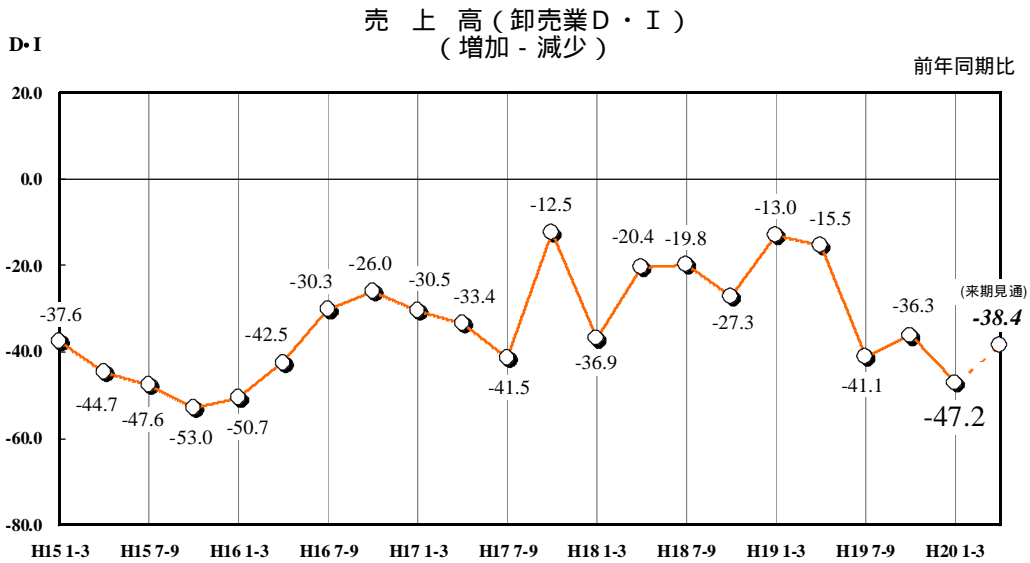
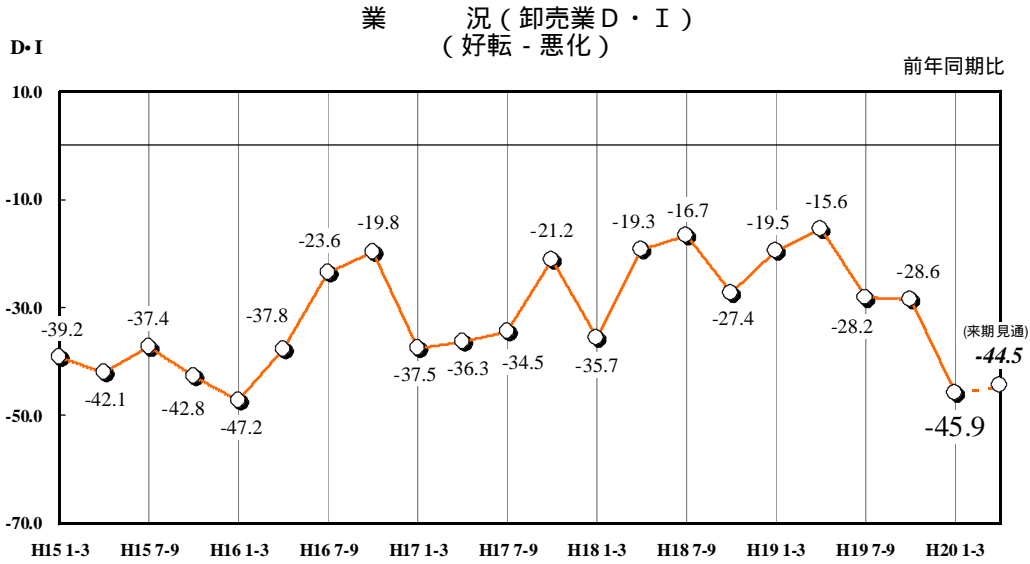
経営上の問題点



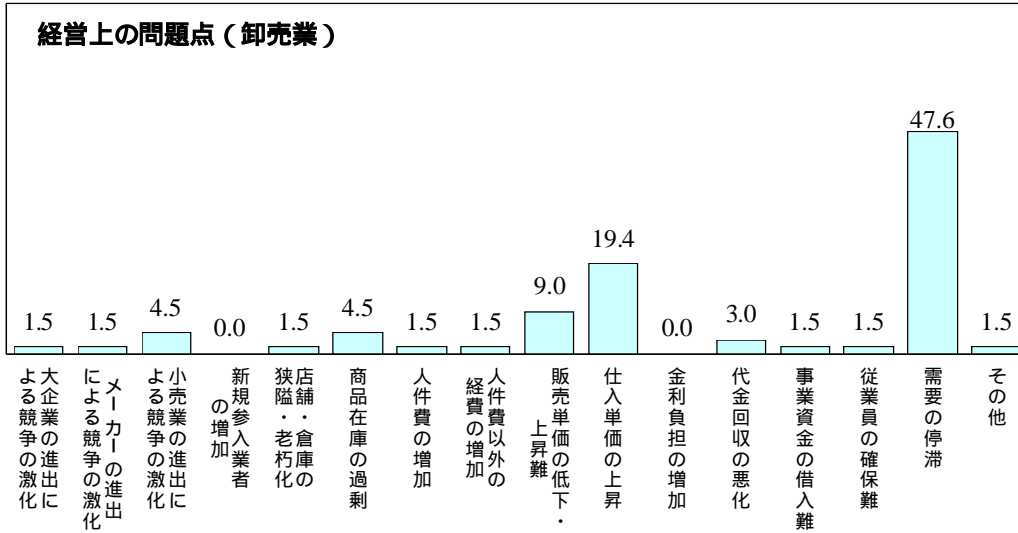
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	24.6	32.3	35.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	20.7	17.2 (今期比)
短期 "	-----	3.4	3.4 (今期比)
受注(新規契約工事)額	55.3	-----	48.4 (前年同期比)

### (3) 卸 売 業



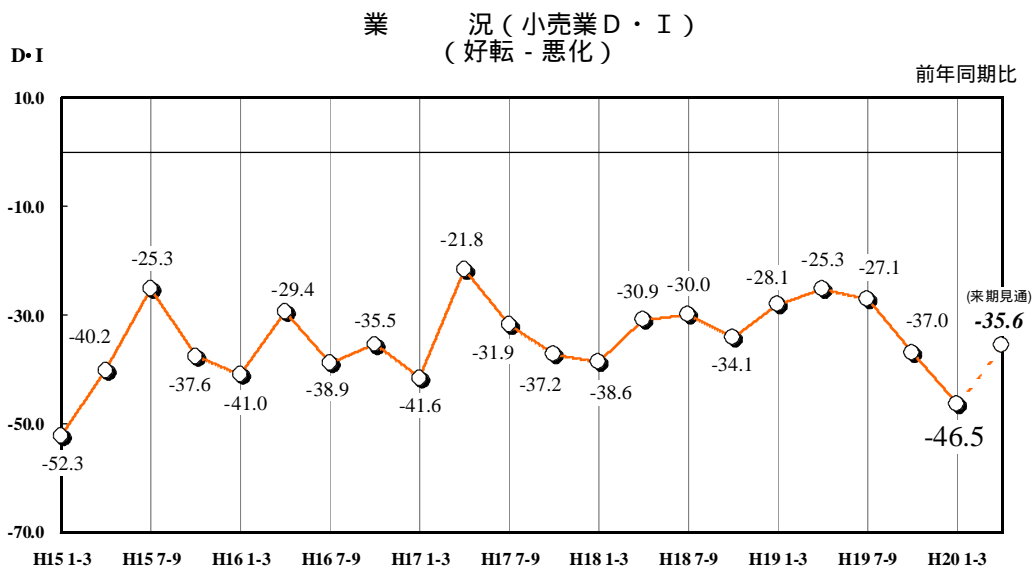
## 経営上の問題点

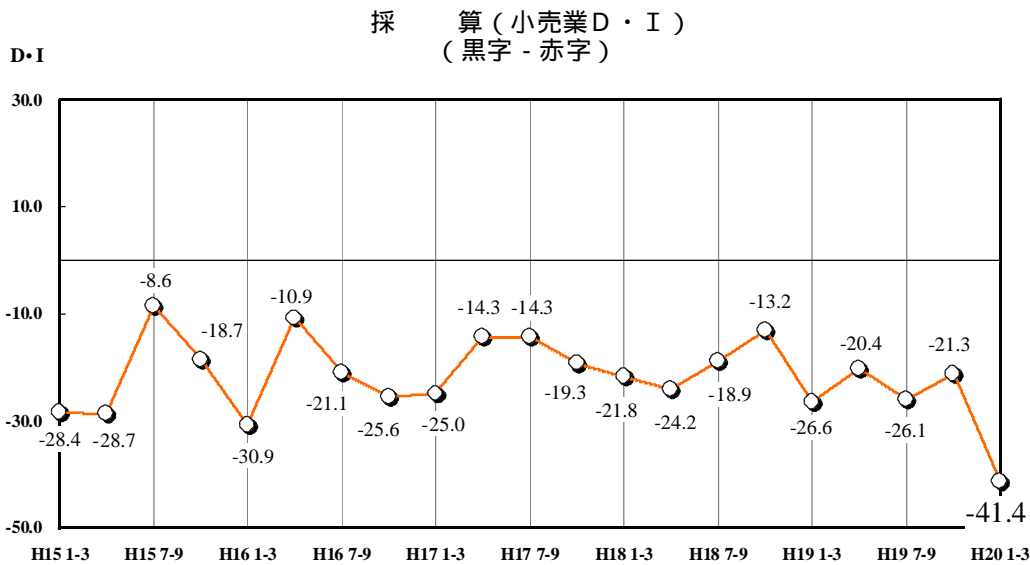
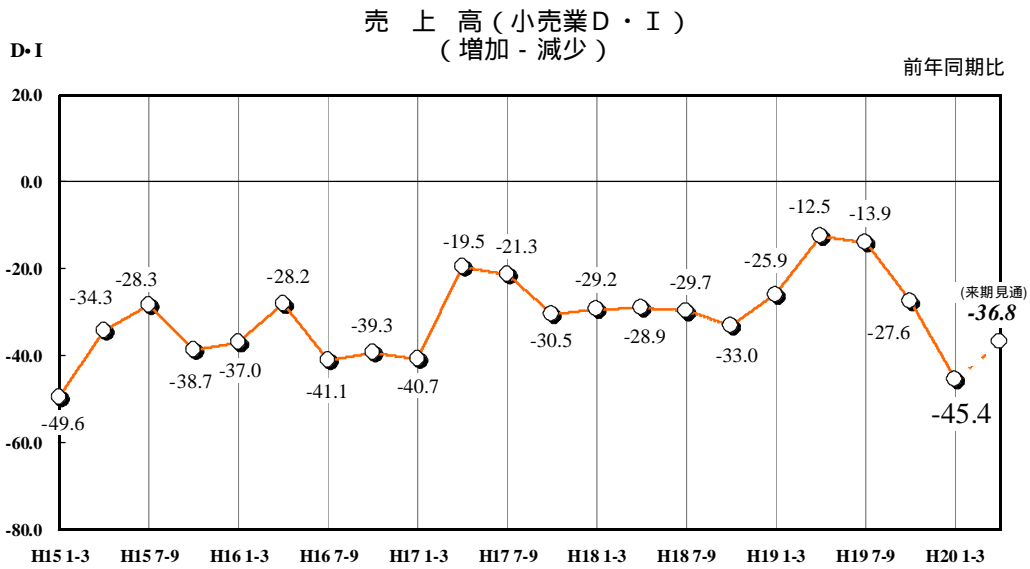


## その他（D・I値）

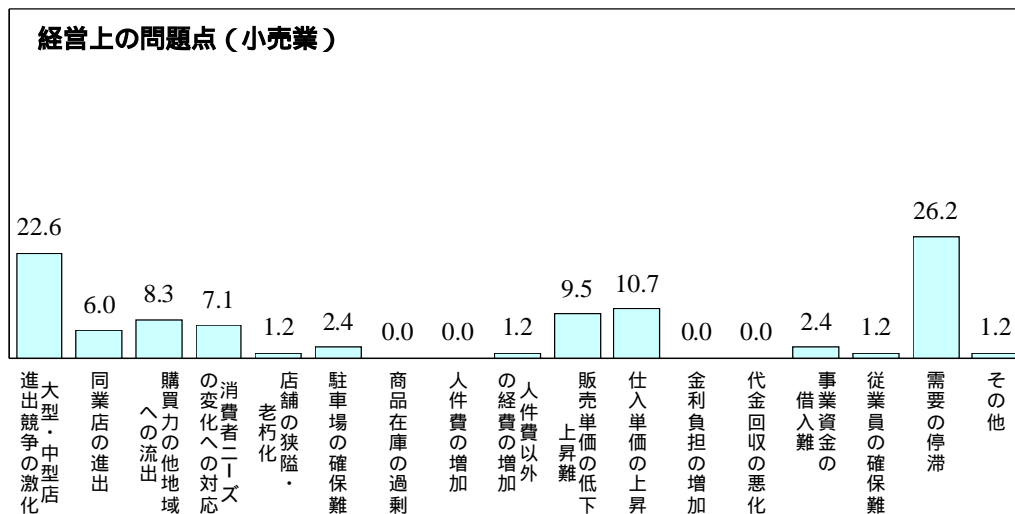
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	27.8	29.2	28.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	12.2	10.6 (今期比)
短期 "	-----	4.6	3.1 (今期比)
商品在庫数量	32.4	-----	30.6 (前年同期比)

## (4) 小 売 業





## 経営上の問題点

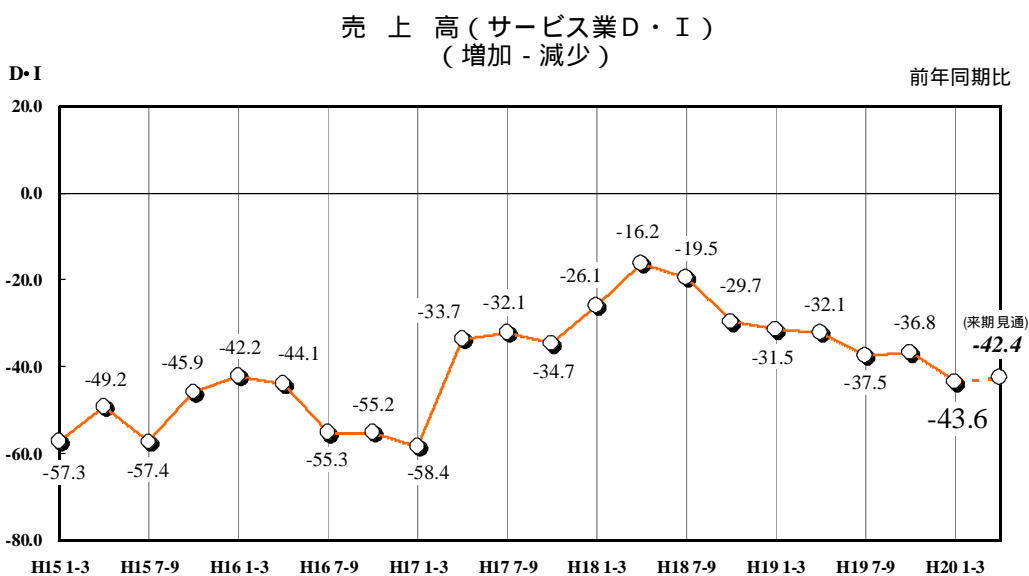
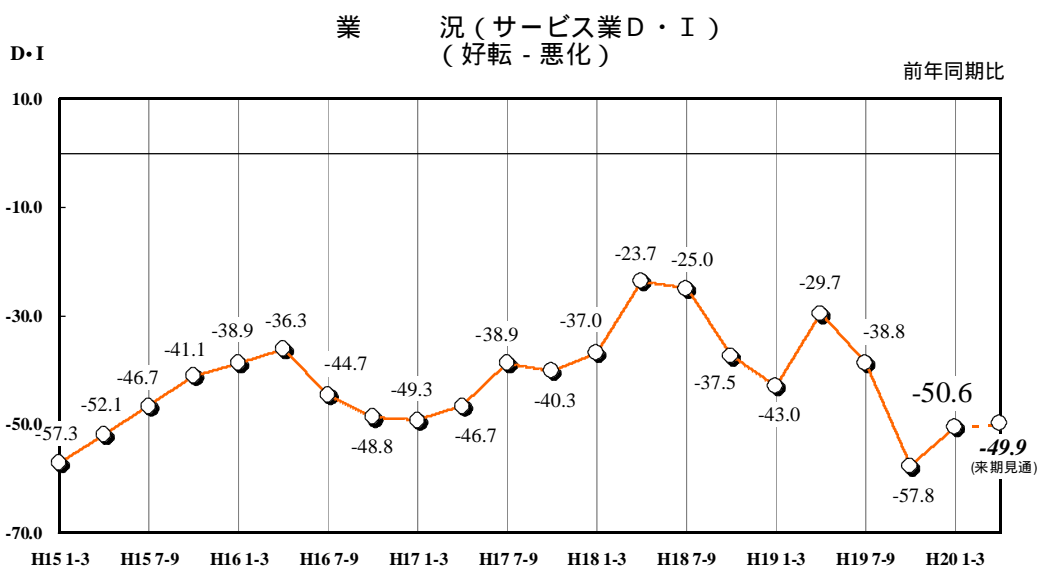




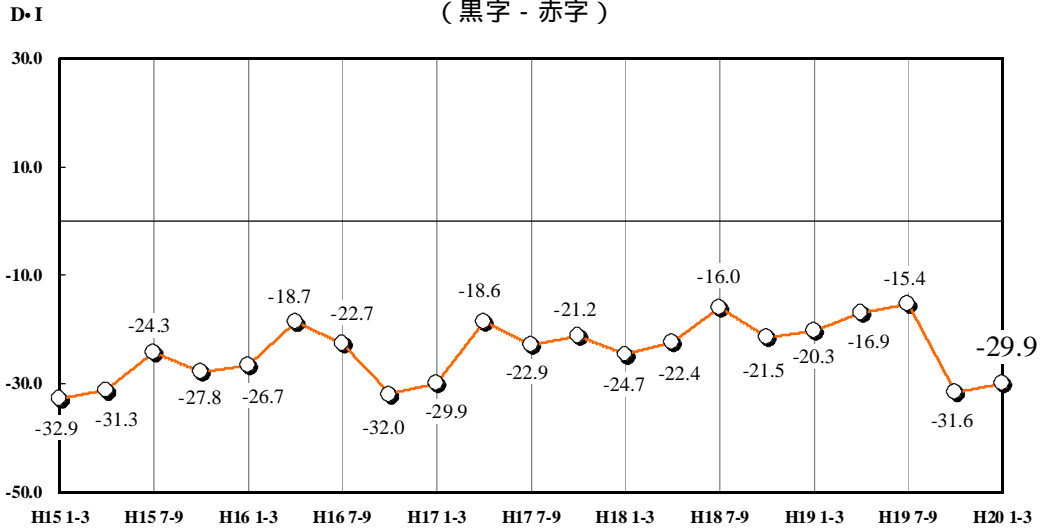
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	40.3	48.3	37.2 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	13.4	16.2 (今期比)
短期 "	-----	10.6	13.8 (今期比)
商品在庫数量	25.0	-----	26.4 (前年同期比)

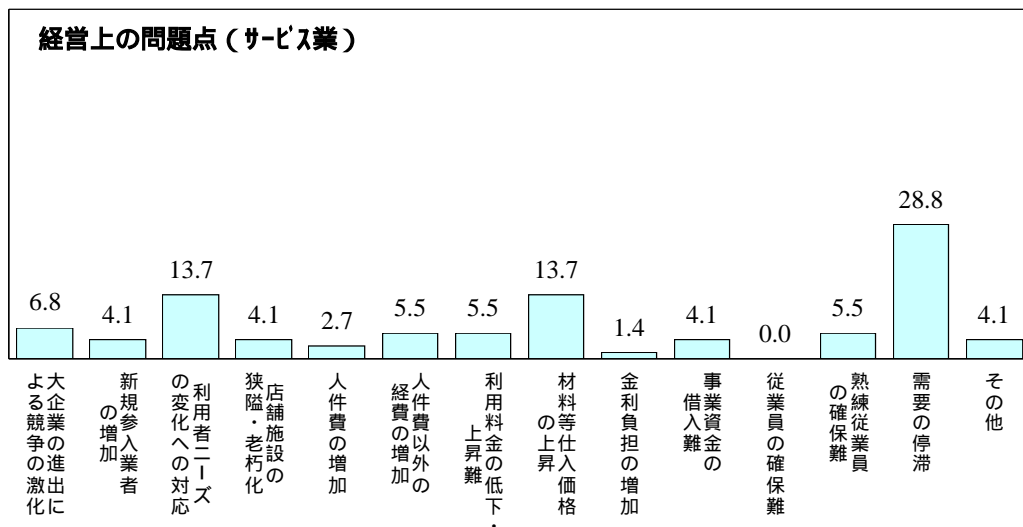
(5) サービス業



採 算 (サービス業 D・I)  
(黒字 - 赤字)



経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	29.3	27.7	24.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	21.8	23.2 (今期比)
短期 "	-----	15.2	16.4 (今期比)
利 用 客 数	34.1	36.7	39.2 (前年同期比)

# 業種別調査資料

## 1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位：%)

区 分	今 期(平成20年 1月～ 3月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況 (自 社)	3.4	44.1	52.5	-49.1
生産に対する原材料在庫	1.8	92.8	5.4	-3.6
売上に対する製品在庫	2.0	94.1	3.9	-1.9
採 算 (経常利益)	8.5	61.0	30.5	-22.0
引 合 い	7.1	44.6	48.3	-41.2
生 産 設 備	8.8	85.9	5.3	3.5
従 業 員(含臨時・パート)	8.8	84.2	7.0	1.8

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調  
 ↔ : ぶつう、適正、収支トントン

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				前年同期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成20年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 (加 工) 額	16.9	33.9	49.2	-32.3	5.2	22.4	72.4	-67.2	12.1	46.5	41.4	-29.3
B 売 上 (加 工) 単 価	19.0	44.8	36.2	-17.2	15.5	55.2	29.3	-13.8	22.4	44.8	32.8	-10.4
C 売 上 (加 工) 数 量	15.3	33.9	50.8	-35.5	5.2	31.0	63.8	-58.6	12.1	41.4	46.5	-34.4
D 資 金 繰 り	3.4	66.1	30.5	-27.1	1.7	56.9	41.4	-39.7	6.9	62.1	31.0	-24.1
E 輸 出 額	11.1	77.8	11.1	0.0					36.4	54.5	9.1	27.3
F 原 材 料 仕 入 単 価	80.7	19.3	0.0	80.7					75.0	23.2	1.8	73.2
G 原 材 料 在 庫 数 量	9.1	70.9	20.0	-10.9					12.7	70.9	16.4	-3.7
H 製 品 在 庫 数 量	4.0	68.0	28.0	-24.0					8.2	67.3	24.5	-16.3
I 採 算 (経常利益)	11.9	37.3	50.8	-38.9					13.8	43.1	43.1	-29.3
J 従 業 員(含臨時・パート)	5.2	81.0	13.8	-8.6					1.8	82.1	16.1	-14.3
K 外 部 人 材(請負・派遣)	2.9	82.4	14.7	-11.8					2.9	80.0	17.1	-14.2
L 設 備 操 業 率	5.5	58.1	36.4	-30.9					5.6	61.1	33.3	-27.7
M 引 合 い	12.7	43.7	43.6	-30.9								
N 受 注 残	7.8	54.9	37.3	-29.5								
	6.8	49.1	44.1	-37.3	8.9	39.3	51.8	-42.9	10.7	42.9	46.4	-35.7
O 業 況 (自 社)	前年同期(平成19年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				今 来 期(平成20年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成20年 4月～ 6月)の見通し			
									23.6	49.1	27.3	-3.7
P 受 取 手 形 期 間					0.0	97.7	2.3	-2.3	0.0	97.6	2.4	-2.4
Q 長 期 資 金 借 入 難 度					3.9	80.4	15.7	-11.8	3.9	82.4	13.7	-9.8
R 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					3.8	82.7	13.5	-9.7	1.9	86.6	11.5	-9.6
S 借 入 金 利					22.6	71.7	5.7	16.9	24.5	71.7	3.8	20.7

↗ : 増加      ↗ : 上昇      ↗ : 好転      ↗ : 長期化      ↗ : 容易  
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N)      - : 不変(B, F, L, S)      - : 不変(D, I, O)      - : 不変(P)      - : 不変(Q, R)  
 ↘ : 減少      ↘ : 低下      ↘ : 悪化      ↘ : 短期化      ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	O A 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	22.4	0.0	0.0	61.5	7.7	7.7	30.8	0.0	7.7	77.6
来 期	14.0	0.0	12.5	50.0	12.5	37.5	37.5	0.0	12.5	86.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	1.8	5.5
新規参入業者の増加	0.0	1.8
製品ニーズの変化への対応	5.5	14.5
生産設備の不足・老朽化	3.6	16.4
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	41.9	70.9
原材料の不足	0.0	1.8
人件費の増加	0.0	7.3
原材料費・人件費以外の経費の増加	3.6	16.4
製品(加工)単価の低下・上昇難	9.1	38.2
金利負担の増加	0.0	5.5
取引条件の悪化	1.8	18.2
事業資金の借入難	0.0	3.6
従業員確保の確保難	0.0	3.6
熟練技術者の確保難	1.8	5.5
需要の停滞	30.9	69.1
その他	0.0	1.8



### 3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成20年 1月～3月)の水準			
	↗	↘	↔	D・I
業 況(自 社)	2.7	34.2	63.1	-60.4
売 上 対 する 商 品 在 庫	20.5	74.0	5.5	15.0
採 算(経常利益)	11.0	49.3	39.7	-28.7
引 合 計	8.5	36.6	54.9	-46.4
従 業 員(含臨時・パート)	4.4	82.4	13.2	-8.8

↗ : 良い、過剰、黒字、活発  
 ↘ : ぶつづ、適正、収支トントン  
 ↔ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 1月～3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				前年同期(平成19年 4月～6月)と比べた 来 期(平成20年 4月～6月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上 額	12.5	27.8	59.7	-47.2	6.8	26.0	67.2	-60.4	13.7	34.2	52.1	-38.4
B 売 上 単 価	29.6	46.5	23.9	5.7	22.2	58.4	19.4	2.8	30.6	52.7	16.7	13.9
C 資 金 繰 り	1.4	69.4	29.2	-27.8	0.0	70.8	29.2	-29.2	0.0	71.2	28.8	-28.8
D 商 品 仕 入 単 価	61.1	27.8	11.1	50.0					60.3	32.9	6.8	53.5
E 商 品 仕 入 数 量	13.9	34.7	51.4	-37.5					9.6	50.7	39.7	-30.1
F 商 品 在 庫 数 量	9.9	47.8	42.3	-32.4					8.3	52.8	38.9	-30.6
G 採 算(経常利益)	8.3	40.3	51.4	-43.1					4.1	46.6	49.3	-45.2
H 従 業 員(含臨時・パート)	4.5	77.3	18.2	-13.7					3.0	80.6	16.4	-13.4
I 外 部 人 材(請負・派遣)	6.7	84.4	8.9	-2.2					6.5	89.2	4.3	2.2
J 引 合 計	10.1	43.5	46.4	-36.3								
K 業 況(自 社)	8.3	37.5	54.2	-45.9	6.9	44.4	48.7	-41.8	8.3	38.9	52.8	-44.5
	前年同期(平成19年 1月～3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				今 期(平成20年 1月～3月)と比べた 来 期(平成20年 4月～6月)の見通し			
L 受 取 手 形 期 間					0.0	96.4	3.6	-3.6	0.0	96.4	3.6	-3.6
M 長 期 資 金 借 入 難 度					3.0	81.8	15.2	-12.2	3.0	83.4	13.6	-10.6
N 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					3.1	89.2	7.7	-4.6	3.1	90.7	6.2	-3.1
O 借 入 金 利					13.4	83.6	3.0	10.4	14.9	85.1	0.0	14.9

↗ : 増加  
 ↘ : 減少  
 ↔ : 増加  
 ↘ : 低下  
 ↗ : 好転  
 ↘ : 悪化  
 ↗ : 長期化  
 ↘ : 短期化  
 ↗ : 容易  
 ↘ : 困難  
 - : 不変(A, E, F, H, I, J)  
 - : 不変(B, D, O)  
 - : 不変(C, G, K)  
 - : 不変(L)  
 - : 不変(M, N)

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない							
		土 地	店 舗	倉 庫	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	そ の 他
今 期	8.2	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	66.7	0.0	0.0
来 期	4.2	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	1.5	6.0
メ ー カ ー の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	1.5	3.0
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	4.5	13.4
新 規 参 入 業 者 の 増 加	0.0	4.5
店 舗 ・ 倉 庫 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	1.5	3.0
商 品 在 庫 の 過 剰	4.5	7.5
人 件 費 の 増 加	1.5	3.0
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	1.5	23.9
販 売 単 価 の 低 下 ・ 上 昇 難	9.0	40.3
仕 入 単 価 の 上 昇	19.4	49.3
金 利 負 担 の 増 加	0.0	7.5
代 金 回 収 の 悪 化	3.0	13.4
事 業 資 金 の 借 入 難	1.5	9.0
従 業 員 の 確 保 難	1.5	3.0
需 要 の 停 滞	47.6	76.1
そ の 他	1.5	6.0

## 4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成20年 1月～ 3月)の水準			D・I
	↑	↔	↓	
業 況 (自 社)	4.6	33.3	62.1	-57.5
売 上 に 対 す る 原 材 料 在 庫	19.5	67.9	12.6	6.9
採 算 (経 常 利 益)	4.6	49.4	46.0	-41.4
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	3.7	88.9	7.4	-3.7

↑ : 良い、過剰、黒字、活発  
 ↔ : ふつう、適正、収支トントン  
 ↓ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成19年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成19年10月～ 12月)に比べて				前年同期(平成19年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成20年 4月～ 6月)の見通し			
	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I
A 売 上 額	14.8	25.0	60.2	-45.4	9.1	20.5	70.4	-61.3	11.5	40.2	48.3	-36.8
B 客 単 価	8.0	44.3	47.7	-39.7	4.5	43.2	52.3	-47.8	5.7	51.8	42.5	-36.8
C 客 数	8.0	38.6	53.4	-45.4	4.5	35.2	60.3	-55.8	8.0	44.8	47.2	-39.2
D 資 金 繰 り	1.1	57.5	41.4	-40.3	1.1	49.5	49.4	-48.3	2.3	58.2	39.5	-37.2
E 商 品 仕 入 単 価	34.5	42.5	23.0	11.5					34.9	48.8	16.3	18.6
F 商 品 仕 入 額	20.7	36.8	42.5	-21.8					22.4	34.1	43.5	-21.1
G 商 品 在 庫 数 量	5.7	63.6	30.7	-25.0					4.6	64.4	31.0	-26.4
H 採 算 (経 常 利 益)	4.5	42.0	53.5	-49.0					10.3	42.5	47.2	-36.9
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	2.5	81.0	16.5	-14.0					5.1	80.8	14.1	-9.0
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	0.0	94.1	5.9	-5.9					0.0	90.2	9.8	-9.8
K 業 況 (自 社)	8.0	37.5	54.5	-46.5	6.9	33.3	59.8	-52.9	6.9	50.6	42.5	-35.6
L 長 期 資 金 借 入 難 度					1.3	84.0	14.7	-13.4	0.0	83.8	16.2	-16.2
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					1.5	86.4	12.1	-10.6	0.0	86.2	13.8	-13.8
N 借 入 金 利					13.0	85.7	1.3	11.7	12.0	84.0	4.0	8.0

↑ : 増加  
 ↔ : 不変 (A, C, F, G, I, J)  
 ↓ : 減少  
 ↑ : 上昇  
 ↔ : 不変 (B, E, N)  
 ↓ : 低下  
 ↑ : 好転  
 ↔ : 不変 (D, H, K)  
 ↓ : 悪化  
 ↑ : 容易  
 ↔ : 不変 (L, M)  
 ↓ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実 施 ・ 計 画 し て い る									実 施 ・ 計 画 し て い な い
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	4.6	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	95.4
来 期	7.0	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	66.7	0.0	0.0	93.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大・中型店の進出による競争の激化	22.6	35.7
同業者の進出	6.0	11.9
購買力の他地域への流出	8.3	22.6
消費者ニーズの変化への対応	7.1	33.3
店舗の狭隘・老朽化	1.2	6.0
駐車場の確保難	2.4	7.1
商品在庫の過剰	0.0	6.0
人件費の増加	0.0	3.6
人件費以外の経費の増加	1.2	15.5
販売単価の低下・上昇難	9.5	32.1
仕入単価の上昇	10.7	22.6
金利負担の増加	0.0	2.4
代金回収の悪化	0.0	2.4
事業資金の借入難	2.4	7.1
従業員の確保難	1.2	6.0
需要の停滞	26.2	47.6
その他の	1.2	6.0

## 5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成20年1月～3月)の水準			D・I
	↑	↔	↓	
業況(自社)	6.5	42.9	50.6	-44.1
採算(経常利益)	5.2	59.7	35.1	-29.9
従業員(含臨時・パート)	10.1	76.9	13.0	-2.9

↑: 良い、過剰、黒字、活発  
 ↔: ぶつう、適正、収支トントン  
 ↓: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成19年1月～3月)に比べて				前期(平成19年10月～12月)に比べて				前年同期(平成19年4月～6月)と比べた 来期(平成20年4月～6月)の見通し			
	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I	↑	↔	↓	D・I
A 売上(収入)額	11.3	33.8	54.9	-43.6	10.0	37.5	52.5	-42.5	6.3	45.0	48.7	-42.4
B 客単価	3.8	60.8	35.4	-31.6	2.5	64.6	32.9	-30.4	5.1	59.5	35.4	-30.3
C 利用客数	8.9	48.1	43.0	-34.1	5.1	53.1	41.8	-36.7	5.1	50.6	44.3	-39.2
D 資金繰り	2.7	65.3	32.0	-29.3	3.9	64.5	31.6	-27.7	4.0	68.0	28.0	-24.0
E 仕入単価(材料等)	44.7	48.7	6.6	38.1					47.4	43.4	9.2	38.2
F 採算(経常利益)	5.1	39.2	55.7	-50.6					0.0	43.0	57.0	-57.0
G 従業員(含臨時・パート)	4.2	74.7	21.1	-16.9					4.2	81.7	14.1	-9.9
H 外部人材(請負・派遣)	2.0	86.2	11.8	-9.8					2.0	90.2	7.8	-5.8
I 業況(自社)	5.1	39.2	55.7	-50.6	3.8	50.0	46.2	-42.4	1.3	47.5	51.2	-49.9
L 長期資金借入難度					4.3	69.6	26.1	-21.8	2.9	71.0	26.1	-23.2
M 短期資金借入難度(含手形割引)					3.0	78.8	18.2	-15.2	3.0	77.6	19.4	-16.4
N 借入金利息					17.6	75.0	7.4	10.2	14.7	76.5	8.8	5.9

↑: 増加  
 ↔: 不変(A, C, G, H)  
 ↓: 減少  
 ↑: 上昇  
 ↔: 不変(B, E, N)  
 ↓: 低下  
 ↑: 好転  
 ↔: 不変(D, F, I)  
 ↓: 悪化  
 ↑: 容易  
 ↔: 不変(L, M)  
 ↓: 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	サービス設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	10.1	0.0	0.0	50.0	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	89.9
来期	7.6	0.0	16.7	50.0	33.3	50.0	66.7	0.0	16.7	92.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	6.8	15.1
新規参入業者の増加	4.1	16.4
利用者ニーズの変化への対応	13.7	45.2
店舗施設の狭隘・老朽化	4.1	9.6
人件費以外の経費の増加	2.7	11.0
人件費以外の経費の増加	5.5	21.9
利用料金の低下・上昇難	5.5	24.7
材料等仕入単価の上昇	13.7	31.5
金利負担の増加	1.4	5.5
事業資金の借入難	4.1	11.0
従業員の確保難	0.0	5.5
熟練従業員の確保難	5.5	13.7
需要の停滞	28.8	58.9
その他	4.1	4.1